2021～2025中長期基本計画

一般社団法人
JPA 日本パラ陸上競技連盟
JAPAN PARA ATHLETICS

私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）が目指す持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するために、「障がい、性別、年齢の違いを超えて全ての人に陸上競技の機会を提供する事」「陸上競技を通して世界とつながり生きよい社会を実現する事」を目指して取組みます。

そして、スポーツ基本法の理念である「スポーツを通じて『国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む』ことができる社会の実現」に向けて努力を続けます。

ビジョン・ミッション

一般社団法人 JPA 日本パラ陸上競技連盟
JAPAN PARA ATHLETICS

未来ビジョン

「障がい、性別、年齢の違いを超えて全ての人に陸上競技の機会を提供する事」
「陸上競技を通して世界とつながり生きよい社会を実現する事」

私たちはパラ陸上競技という一つの家に暮らすファミリーであるという考えのもと、社会的に果たすべき責任（全てのステークホルダー、コンプライアンス・ガバナンス・フェアプレー）を土台とし、４つの柱である競技普及・選手強化・競技環境の充実・組織の自立の経営目標を遂行し、ファミリー全員を幸せにするミッションを果たすことで、誰もが陸上競技を楽しむ、元気な世の中を実現します。

行動指針

パラ陸ファミリーは、

１.陸上競技を愛し、競技の高潔性を保つため努力を惜しみません。

２.お互いの役割を尊重し、コミュニケーションを欠かしません。

３.どのような立場にいても学び続けることを忘れず挑戦し続けます。

４.ファミリーにとってメリットがある活動を支えます。

５.パラ陸上を愛するファンのことを大切にします。

６.支援企業との共働で「社員よし パラ陸よし 世間よし」の活動をします。

一連の事業により、キャリアパスウェイを構築し、
社会で役割をもち活躍できる人材を陸上競技を通じて輩出することで、
持続的に社会活性化を図りインクルーシブ社会の実現に貢献します。

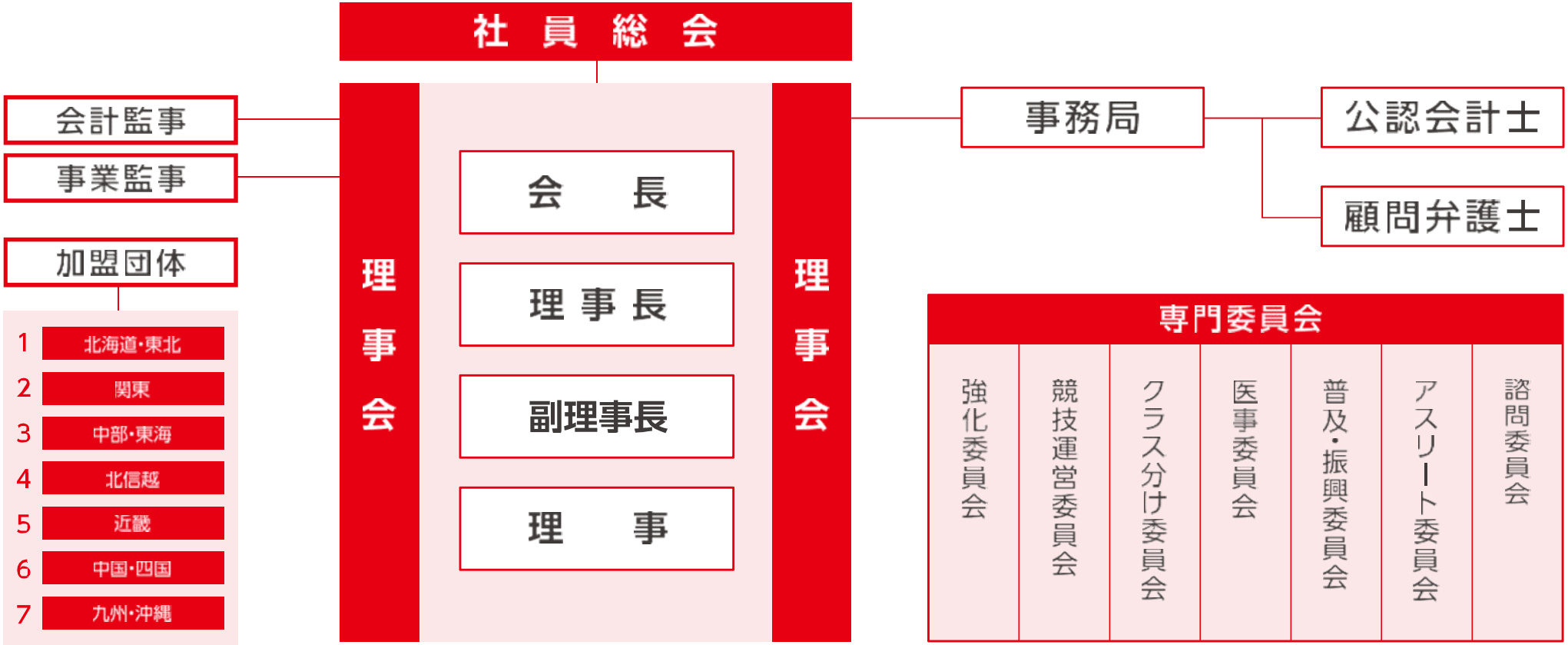
組織の概要（１）基礎情報

一般社団法人 JPA 日本パラ陸上競技連盟 JAPAN PARA ATHLETICS

団体名	一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟
所在地	事務所 〒558-0003 大阪市住吉区長居2-1-10 パークサイド長居106 TEL 06-6654-5367 FAX 06-6654-5367 東京事務局 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 (株)セレスポ内 TEL 03-5974-1231 FAX 03-5394-7633
加盟先	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会
役員	会長　1名　理事長　1名　副理事長　2名 理事　11名　監事　2名
設立	1989年（平成元年）3月31日
会員数	600名（男子483名、女子117名） ［2019年3月現在］

組織の概要（２）組織図

一般社団法人 JPA 日本パラ陸上競技連盟
JAPAN PARA ATHLETICS



組織の概要（３）組織の事業

1. 障がい者の日本選手権およびその他の競技会の開催、後援
2. 障がい者の陸上競技の普及指導および調査研究
3. 障がい者の地域団体の発展と相互の連絡融和
4. 障がい者の競技規則およびクラス分けの策定改廃
5. 障がい者の陸上競技技術の向上事業および指導者養成事業
6. 当連盟のパラリンピック選手等による社会貢献活動の実施
7. 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、日本パラリンピック委員会に加盟し、その目的に即した事業の実施
8. その他、当連盟の目的を達成するために必要な事業

経営戦術

各専門委員会の横断連携によりこれらの戦術を具体的な事業に展開します

経営戦術			
競技普及	**選手強化**	**競技環境の充実**	**組織の自立**
・地域で競技に楽しめる受け皿を作ります ・競技体験会を開催しスポーツに触れる機会を作ります ・医療、教育との連携を行います ・一般の人が観て楽しむ策を実行します	・持続的な競技パスウェイを構築します ・戦略的な強化目標を掲げます ・高い競技専門性を持つ人材を確保・育成します ・研究調査を行い、エビデンスに基づく選手強化育成を図ります	・競技規則に則った公平な競技会を開催します ・競技役員、クラス分け委員などの育成を行います ・国内外の競技団体と連携し、競技参加の機会を増大します	・自立した組織運営、財務基盤を構築します ・団体理念によってもたらされるスポンサーメリットを作ります ・他の競技団体との連携により運営の効率化を行います

SDGs

ステークホルダーへの公約

- 競技者、競技者になり得る障がい当事者とその家族に対して、大会や競技体験などの機会創出を継続的に行います。
- 競技役員、指導者、メディカルなど、競技を支える人々に対して、資質向上への機会の提供を行います。
- スポンサーに対して、露出機会にとどまらず競技を手段とした組織活性化の提供を行います。
- ファン、サポーターに対して、競技の魅力や興奮を伝える様々な取り組みを行います。

コンプライアンス

- アスリートセンタード・アスリートアントラージュの考え方に基づき、立場や競技レベルによる階層ではなく、平たく繋がり信頼と相互承認による関係性を築きます。

ガバナンス

- スポーツ庁の定めるガバナンスコードに基づき、セルフチェック、外部監査、達成度の更新を行います。

人材育成

- 選手、コーチ、審判などそれぞれの立場で次世代を担う人材を内外の教育プログラムを活用して育成します。

新陳代謝

- ガバナンスコードに従った在任期間、年齢での役員配置を行います。（ただし、新規に任命された役職についてはその限りではありません。）

人材交流

- 世界パラ陸上競技連盟、日本陸上競技連盟、日本パラ陸上競技連盟、日本知的障がい者陸上競技連盟、日本ブラインドマラソン協会、日本デフ陸上競技協会、の各陸上競技団体間で連携し、人材交流を行います。

事業計画

一般社団法人 JPA 日本パラ陸上競技連盟
JAPAN PARA ATHLETICS

競技普及
①地域連盟、自治体、関係団体などのネットワークの構築と連携強化 ②体験会などのイベントの開催 ③学校や病院等との連携 ④国際交流の推進 ⑤広報活動の充実

競技環境の充実
①日本選手権など、主催大会の開催 ②2022神戸世界選手権の開催 ③地域ブロック選手権大会の開催支援 （審判員の派遣、技術協力など） ④日本陸連との競技運営の連携 ⑤審判員・クラス分け委員の育成 ⑥競技規則の管理 ⑦セミナーなどによる競技運営研修

選手強化
①競技パスウェイの構築 ②強化育成事業の実施 ③アンチドーピング活動 ④アスリートリテラシー教育 ⑤指導者認定制度の構築と運用 ⑥コーチングプログラムの開発 ⑦スポーツ医科学研究・調査の推進 （大学、医療機関との医科学連携）

組織の自立
①運営体制の強化 ②地域ブロック・連盟との連携強化 ③他競技団体との連携強化 ④国際競技団体との渉外 ⑤ガバナンス、コンプライアンスの取組み ⑥財務健全化の推進

上記事業を通して、登録者数の増加、パラ陸上競技の価値の向上を目指します。

各種助成金の確保

- 公費をはじめとした助成金を確保するために、日本国民の皆様に対しての責任遵守（ガバナンス遵守）を行います。

スポンサーの獲得

- 支援いただける企業を獲得するため、パラ陸上競技の価値を高め、スポンサーメリットの向上に努めます。

経費の削減

- 事業費・管理費等の見直しや重点化、他競技団体との連携による効率化などにより、事業は適切に実施しつつ、経費の削減を図ります。